

平成20事業年度

決 算 報 告 書

自：平成20年4月 1日

至：平成21年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

平成20年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,394	20,618	223	(注1)
施設整備費補助金	2,922	3,021	99	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	1,297	1,297	-	
自己収入	117	228	111	(注3)
雑収入	117	228	111	
大学院教育収入	200	241	41	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,456	2,551	95	(注5)
目的積立金取崩	118	-	△118	(注6)
計	27,505	27,958	452	
支出				
業務費	18,222	17,854	△367	(注7)
教育研究経費	18,222	17,854	△367	
一般管理費	2,407	2,453	46	(注8)
施設整備費	4,219	4,318	99	(注9)
大学院教育経費	200	236	36	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,456	2,529	73	(注11)
計	27,505	27,393	△112	
収入-支出	-	564	564	

○予算と決算の差違について

- (注1) 予算段階では、計上していなかった運営費交付金債務の繰越額に係る当事業年度支出相当額を計上したため、予算額に比して決算額が223百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では、計上していなかった施設整備補助金を計上したため、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主としてサービス事業の利用者の増加等による収入増に努めたため、予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。
- (注4) 予算段階では予定していなかった国立大学法人総合研究大学院大学等からの大学院教育収入があったため、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった国及び民間等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が95百万円多額となっています。
- (注6) 注3に示した理由及び経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算段階では予定していた目的積立金取崩を行わなかったため、予算額に比して決算額が118百万円少額となっています。
- (注7) 業務費については、経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算額に比して決算額が367百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、退職手当の増加等により、予算額に比して決算額が46百万円多額となっています。
- (注9) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。
- (注10) 注4に示した理由により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注11) 注5に示した理由により、予算額に比して決算額が73百万円多額となっています。
また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費等10百万円及び寄附金5百万円を含んでおります。